

自然生態系

野生の生きものは、おたがいに^{かんけい}関係しあ^いって生きている

生きものが生きていくためには、「水」「空気」「土」「太陽の光」が必要じゃ。これらの4つの要素を土台にして、わしら「野生の生きもの」が生きている。4つの要素と生きものが複雑に関係しあ^いってつくる世界を、むずかしい言葉じゃが「自然生態系」というんじゃ。

▼タカなどが小鳥やカエルと
いった生きものを食べる。



植物は、土から養分と水を取り、太陽の光を使って光合成を行い、生長する。▼

バツタなどが植物を食べる。



自然生態系は、長い年月をかけて作りあげられたものじゃ。「野生の生きもの」だって、地球に生きものが誕生していらい40億年もかけて今の状態になったのじゃ。自然生態系とは、とても人間の技術でつくれるものではないんじゃ。だから、一度こわしてしまうと元にもどすことは大変むずかしく、時間もかかるんじゃよ。

▲枯れた植物、動物の死がいやフンなどは、土の中の生きものによって分解され、生きた土となる。



いろんな生きものがお互いに関係をも^らせてく^らしいける空間、たとえば草地、川、林、森など、昔から生きものがいっぱいいるところを「ビオトープ」というんじゃ。それをどんどん回復させれば、ケロケロ草もかならず生えてくる

